

●血行の促進 ●新陳代謝の活発化 ●疲労回復や美容効果

高濃度 炭酸泉風呂 ごあんない

■炭酸泉とは

◎炭酸ガスがたくさん溶けた温泉です。

1000ppm(水1ℓ中に1000mg)以上の高濃度炭酸泉は、

特に疲労回復や健康維持に良いと言われています。

◎ドイツでは「心臓の湯」と言われ、高血圧をはじめ

心筋梗塞など循環器系障害の治療などにも活用されています。

◎日本でも重症の血行障害の治療やリハビリ等に用いられています。

■炭酸泉の特長

一、血行促進

炭酸成分を含んだ無数の気泡に全身が包まれると、皮膚から炭酸成分が吸収され血管を拡張させ、血行を促進させます。

その促進効果は、さら湯の3〜7倍にもなると言われています。

二、ボーア(Böhr)効果

炭酸ガスは血液のpHを一時的に下げ、酸素を運んでいる

ヘモグロビンにくっつくことでヘモグロビンから酸素が放出されます。

それにより組織への酸素供給が増大し、新陳代謝が活発になり、

疲労回復などを促進します。

三、低温にゆったりが効果的

炭酸泉温浴は、やや低温にゆったりつかるのが効果的です。

当湯は37〜38度に設定しております。

10分程度を目安にゆったりとつかりますと血行促進の効果も高まり、

入浴後は身体がポカポカとしてきます。

【入浴効果】(参考…個人差があります)

心臓病・糖尿病・高血圧・リウマチ痛・血行障害・婦人病

肩こり・腰痛・筋肉痛・関節痛・冷え性

むくみ・便秘・抜け毛・疲労回復・美容・美肌

などの予防や改善に効果が期待できると言われています。